

第 28 回（2019 年度）鹿児島県青少年国際協力体験事業

អរគុណ! តាត្រាវ オーケン! タトラヴ



鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

青年海外協力隊鹿児島県 OB 会

公益財団法人 鹿児島県国際交流協会

は じ め に



鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会

会長 弓 場 秋 信

(鹿児島県青年海外協力隊を支援する会 事務局長)

鹿児島県青少年国際協力体験事業は、平成3年にマレーシアに派遣以来、今年28回目を迎えました。開発途上国で「国づくり、人づくりに貢献する」青年海外協力隊員の活動現場に鹿児島の青少年を派遣し、国際協力に対する理解を深めると共に、ホームステイ等での異文化体験、学校等での現地学生との交流を通して、国際性豊かな青少年を育成することを目的に、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会、青年海外協力隊鹿児島県OB会、公益財団法人鹿児島県国際交流協会で構成された実行委員会です。これまで、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、スリランカの7ヶ国に県下一円から346名の中高生を派遣しました。

今年の派遣国は、本事業第3回目の派遣となるカンボジアです。1953年にフランスから独立し順調に国づくりを進めるも、1970年から1991年にかけての内戦と圧政による混乱、特に1975年から1979年のポルポト政権下での知識階級を中心とした大虐殺が、その後の国づくりに物心両面で大きな爪痕を残しました。悲しい歴史を乗り越え新たな国づくりに取り組むカンボジアに、日本を含む国際社会が様々な援助を行っています。その一つが、1965年に発足した青年海外協力隊事業です。事業発足と同時に派遣が始まったカンボジアは、前述の事情により中断されていた期間もありましたが、治安の回復を待って再開され、現在までに数多くの隊員が、人づくり・国づくり活動に汗を流しております。国際協力の最前線に触れられる現場として最適であるカンボジアを、今年度の派遣国に決定しました。

本事業の共催市である鹿児島市、鹿屋市、霧島市、枕崎市、南九州市、南さつま市、いちき串木野市から推薦の12名と、企業の協賛を得ての実行委員会枠3名は、2回の事前研修でクメール語、カンボジア事情、青年海外協力隊活動と国際協力、日本・鹿児島について学び、7月21日に鹿児島空港から仁川を経由してカンボジアを訪問しました。

団員は、プノンペンにある国際協力機構 JICA カンボジア事務所で、カンボジアにおける青年海外協力隊事業や国際協力等について学んだ後、シェムリアップ州プラサットバコン郡に位置するホームステイ先に移動しました。一人でホームステイする4泊5日の間には、バンテアイミンチェイ州シソポンの小学校で巡回指導を行う深町隊員、プノンペンのボントラベック中学校で体育隊員として活躍している井上隊員の現場訪問、サマキーミンチェイ小学校での運動会視察や学校交流を行っています。

ここに団員の日々の体験・見たこと・感じたことが綴られた報告書『オーケン！タトラヴ(អរុណ្ណតត្រាវ)』を作成致しましたので、多くの皆様にご覧いただければ幸甚に存じます。

終わりに、本事業実施に当たりご支援ご協力をいただいた共催市、協賛企業、国際協力機構 JICA 九州センター、JICA カンボジア事務所、心温まるもてなしでホームステイを受け入れていただいたカントラン地区タトラヴ村の皆様、そして活動中の青年海外協力隊員はじめとする多くの関係者に、心より感謝申し上げますとともに、今後とも本事業へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

も く じ

はじめに

鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会 会長 弓場 秋信

ごあいさつ..... 1

鹿児島県PR・観光戦略部 部長 木場 信人

第28回(2019年度)鹿児島県青少年国際協力体験事業の概要..... 2

参加団員等名簿..... 3

スケジュール..... 4

地図..... 5

体験事業ドキュメント(総集編)..... 6

～事前研修から帰国報告会までの様子を団員の日記と併せて紹介します～

団員が感じたこと..... 17

「カンボジア・ゴミに隠れた事実」	六反田 基 世
「カンボジアで見つけた幸せの在り方」	前 蘭 真 鈴
「私にできることとは」	岡 田 綾 香
「感無量のカンボジア」	渡 邊 望 未
「私がカンボジアで感じたこと」	下 山 千 晴
「人々の温かさに触れて」	田 中 いぶき
「カンボジアで感じたこと」	田 代 佳 鈴
「本当の幸せとは」	鳥 居 彩 乃
「国際協力は受け入れることから」	関 田 伊 織
「私とカンボジア」	萩 原 華 音
「私はカンボジアが大好きだ」	岩 重 優 奈
「新しい自分とカンボジア」	岩 田 胡 桃
「発展途上国に触れて」	朝 岡 里 紗
「カンボジアで学んだこと」	三 浦 香 苗
「オークン(ありがとう)」	井 上 柊 哉

団長報告..... 32

「カンボジア王国での7泊8日」

寺園 直喜 (公益財団法人鹿児島県国際交流協会 専務理事)

同行者感想..... 33

「オークン(ありがとう)！そして、チョールチェット(好き)」	丸 野 里 美
「国際協力体験事業の意義」	佐 藤 貴 之
「カンボジアを通して見えたこと」	吉 原 久美代
「笑顔の大切さ学んだカンボジア」	山 田 天 真
「驚きばかりのカンボジア」	高 吉 友 佳

新聞記事(南日本新聞)..... 38

参考資料

「鹿児島県青少年国際協力体験事業」の概要..... 44

「鹿児島県青少年国際協力体験事業」の実績..... 45

ご あ い さ つ



鹿児島県PR・観光戦略部長
木 場 信 人

「第28回(令和元年度)鹿児島県青少年国際協力体験事業」の御成功を心からお喜び申し上げます。

これも、事業実施に御尽力された弓場秋信実行委員会会長をはじめ、関係者の御支援・御苦勞の賜であり、心から敬意を表します。

また、皆様方にはかねてから本県の国際交流・国際協力の取組をはじめ、本事業に代表される青少年の海外体験の促進や海外協力隊員の支援などに格別の御協力をいただいていることに対して、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

今回の体験事業では、7月21日から7月28日まで7泊8日間の日程で、カンボジアを訪問し、現地で青少年活動、体育の指導活動を行っている青年海外協力隊員2人の活動現場を視察されたほか、現地家庭でのホームステイ、現地の小学生との交流等を体験してこられました。

カンボジアは、1953年に正式に日本との国交が樹立されて以来、良好な関係が続いております。今年はカンボジアを含むメコン地域諸国と日本で実施した「日メコン交流年」から10周年で幅広い分野の交流事業が実施されていることなどからも、日本とカンボジアの関係はより一層親密になっていると思います。今回の事業はこれにも貢献しています。

団員の皆さんは、7月31日に県庁を訪問し、私と前田光久県教育次長に帰国報告をされました。皆さんからは、カンボジアの人々の心の温かさや、歴史・生活習慣・文化の違いによる戸惑い、援助のあり方についての考え方、日本とカンボジアそれぞれの価値観の違いから気がついた新たな発見など、たいへん興味深いお話をお聞きすることができました。皆さんのふるまい、報告は大変立派で感銘を受けました。成長されたことが窺えます。

今回の訪問で、団員の皆さんが実際に自分の目で見て、感じ、考えてきたことは、実際に現地へ足を運ばなければ体験することのできない、たいへん貴重なものだと思います。それらを心に深く刻み、実行委員会の方や御家族、渡航先でお世話になった方など事業実施を支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も国際交流・国際協力や国際社会等についての学習を深められ、それらの担い手として、将来、御活躍いただくことを希望しております。

近年、グローバル化が急激に進展するとともに、県内の在留外国人の方々も急増していることなどから、県民の皆様方が国際理解を深め、多文化共生を進めていくことがますます重要になってきています。県では、今後とも、これに対応する必要な取組を積極的に進めてまいりたいと考えておりますので、皆様の一層の御協力をお願いいたします。

最後に、「鹿児島県青少年国際協力体験事業」のますますの御発展と、関係の方々及び団員とその御家族の皆様方の御健勝・御活躍を祈念いたします。

第28回（2019年度）鹿児島県青少年国際協力体験事業の概要

- | | | |
|------------------|--|--|
| 1 主 催 | 鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会
※ 構成団体 鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
青年海外協力隊鹿児島県OB会
公益財団法人鹿児島県国際交流協会 | |
| 2 共 催 | 鹿児島市，鹿屋市国際交流協会，枕崎市教育委員会，
霧島市国際交流協会，南さつま市友好交流推進協議会，
南九州市教育委員会，いちき串木野市国際交流協会 | |
| 3 後 援 | 鹿児島県
鹿児島県教育委員会
独立行政法人国際協力機構九州センター | |
| 4 協 力 | 在日本カンボジア王国大使館 | |
| 5 協 賛 | (株)鹿児島銀行
鹿児島空港ビルディング(株)
鹿児島トヨタ自動車(株)
鹿児島ヨコハマタイヤ(株)
キンコ-醤油(株)
小正醸造(株)
薩摩酒造(株)
(株)下堂園 | 城山観光(株)
南国殖産(株)
(株) Misumi
(株)南日本銀行
(株)山形屋
(株)レイメイ藤井
弓場貿易(株) |
| 6 事業の流れ | 4月～5月
6月15日(土)
7月 6日(土)～7月 7日(日)
7月21日(日)
7月28日(日)
7月31日(水)～8月20日(火)
8月18日(日)
9～10月 | 募集・団員決定
第1回事前研修
第2回事前研修
出発
帰国
表敬訪問
報告会
報告書作成 |
| 7 派 遣 国 | カンボジア王国 | |
| 8 派 遣 期 間 | 2019年7月21日(日)～7月28日(日) | |
| 9 派 遣 人 員 | (1) 参加者 15名
(2) 引率者 6名 | |

参加者団員等名簿

■ 団 員

	名 前	性別	学 校	学年	市 町
1	ろくたんだ もと よ 六反田 基 世	女	鹿児島純心女子高等学校	3	鹿児島市
2	まえ その ま りん 前 園 真 鈴	女	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	2	鹿児島市
3	おか だ あや か 岡 田 綾 香	女	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校	3	鹿児島市
4	わた なべ のぞ み 渡 邊 望 未	女	鹿児島県立鹿屋高等学校	2	鹿屋市
5	さが やま ち はる 下 山 千 晴	女	鹿児島県立川辺高等学校	3	枕崎市
6	た なか いぶき 田 中 いぶき	女	神村学園高等部	1	枕崎市
7	た しろ か りん 田 代 佳 鈴	女	クラーク記念国際高等学校	3	霧島市
8	とり い あや の 鳥 居 彩 乃	女	霧島市立舞鶴中学校	3	霧島市
9	せき た い おり 関 田 伊 織	男	鹿児島県立加世田高等学校	3	南さつま市
10	はぎ はら か のん 萩 原 華 音	女	鹿児島県立川辺高等学校	3	南九州市
11	いわ しげ ゆう な 岩 重 優 奈	女	鹿児島県立鹿児島中央高等学校	2	いちき串木野市
12	いわ た くる み 岩 田 胡 桃	女	いちき串木野市立串木野中学校	1	いちき串木野市
13	あさ おか り さ 朝 岡 里 紗	女	鹿児島県立与論高等学校	2	与論町
14	み うら か なえ 三 浦 香 苗	女	鹿児島県立指宿高等学校	1	指宿市
15	いの うえ しゅう や 井 上 柊 哉	男	龍郷町立赤徳中学校	1	龍郷町

■ 同行者

		名 前	性別	備 考
1	団 長	てら その なお き 寺 園 直 喜	男	(公財) 鹿児島県国際交流協会 専務理事
2	調 整	まる の さと み 丸 野 里 美	女	いっしょき学校を作いもんそ会 事務局長 青年海外協力隊カンボジア OG (小学校教諭)
3	調 整	さ とう たか ゆき 佐 藤 貴 之	男	三島村大里中学校 教諭 青年海外協力隊カンボジア OB (野球)
4	健康管理	よし はら くみ よ 吉 原 久美代	女	病院勤務 青年海外協力隊ルワンダ OG (公衆衛生)
5	マスコミ	やま だ てん しん 山 田 天 真	男	南日本新聞社 編集局文化生活部 記者
6	マスコミ	たか よし ゆ か 高 吉 友 佳	女	鹿児島テレビ放送 報道制作局報道部 記者

スケジュール

月 日	曜	地 名	時 刻	交通機関	内 容	宿 泊
7月21日	日	鹿児島空港 仁川（仁川国際空港） 仁川（仁川国際空港） プノンペン（プノンペン国際空港）	13:55 14:00 15:55 発 17:30 着 18:40 発 22:10 着	KE786 KE689 バス	集合 結団式 チェックイン ホテルへ移動	ホテル
7月22日	月	プノンペン シェムリアップ州 プラサットバコン郡 カントラン地区タトラヴ村	9:00-10:40 10:40	バス	JICA カンボジア事務所表敬 ホームステイ先へ移動 入村式（ホストファミリーと対面）	ホームステイ
7月23日	火	シェムリアップ バンテアイミエンチェイ州 シンボン タトラヴ村（シェムリアップ）	7:00 発 9:00-13:00 12:00	バス	青年海外協力隊活動視察 【青少年活動 深町 菜摘 隊員】 場所：オーオンバル小学校 昼食（隊員との食事会）	ホームステイ
7月24日	水	シェムリアップ バンテアイミエンチェイ州 ポイベト タトラヴ村（シェムリアップ）	7:30 発 10:30-13:00	バス	運動会視察・小学校交流 場所：サマキーミエンチェイ小学校	ホームステイ
7月25日	木	シェムリアップ タトラヴ村（シェムリアップ）	8:00 発 9:00-11:30 12:00 18:00-20:00	バス	シェムリアップ視察 （アンコール・ワット 他） 昼食（ホストファミリー宅） ホストファミリーと過ごす お別れ会	ホームステイ
7月26日	金	シェムリアップ シェムリアップ（シェムリアップ国際空港） プノンペン	6:00 発 8:15 発 9:00 着 12:00-13:00 14:30-16:30 18:00	バス LQ670	村とのお別れ 昼食（Tonle Bassace2 Restaurant） 青年海外協力隊活動視察 【体育 井上 大地 隊員】 場所：ボントラベック中学校 夕食（Kravanh）	ホテル
7月27日	土	プノンペン プノンペン（プノンペン国際空港）	8:00 発 9:00-12:00 12:00-13:00 13:30-15:30 18:00-19:00 23:20 発	バス KE690	プノンペン視察 （トゥールスレン博物館 他） 昼食（プノンペン周辺） プノンペン視察（バザール） 夕食（Titanic Restaurant）	機内泊
7月28日	日	仁川（仁川国際空港） 仁川（仁川国際空港） 鹿児島空港	6:40 着 13:05 発 14:40 着 15:00	KE785	解団式	

地図

